

拝啓

九月に入ってから気温が一気に下がり、十月を待たずしてすっかり秋の気配を感じる今日この頃ですが、

ママさんにおかれましてはその後お変わりなくお過ごしのことと存じます。

筆不精な者でお礼のお手紙を差し上げるのがすっかり遅くなってしまいました。小笠原では大変お世話になり、本当にありがとうございます。思いがけず長逗留となり、子供も私と二人では最初は心許無かったようですが、

ママさん、パパさん、おじいさんにすぶんと御親切にして頂き、又他の宿でできない体験をさせて頂き、楽しい思い出をたくさん作る事ができました。親子共々感謝しております。本当にありがとうございます。

こちらに帰りましてから夫に宿のこと、ママさんや新井さんのことをいろいろと話しまして、一緒に行けなかったことを

大変残念がっております。……いっさんの会社やお仕事、経験  
談など私以上に喜んで聞かせて頂いたであろうと思います。  
小笠原は距離的にはそれ程遠い所というわけではあり  
ませんが、ある意味海外よりも遠いのでなかなか行く  
ことができませんが、またいつか今度は夫も一緒に遊びに  
行きたいと思っています。その際にはもちろんペンション扇浦に  
泊まりたいと思います。

不躱ながら夫の名刺を同封させて頂きました。以前は  
……監査法人に勤めておりましたが、小さな事務所に  
勤める傍ら、自分の（自分一人の）事務所も始めたところ  
です。何かの御縁でつながりができればと存じます。  
私も長かった夏休みがようやくやく（とうとう？）終わら  
来週からまた仕事が始まります。小笠原から帰って  
すぐに現実に戻らなければならなかった子どもは一ヶ月も遅れての



現実復帰です。せいせいのども痛めないう気をつけて  
頑張りなご思ひます。

末筆とびりましが、御家族の皆様御多幸と  
会社のますますの御発展をお祈りしてあります。

敬具

平成二十七年九月二十六日

〇〇〇様

追伸

今まで適当に作っていたみそ汁を最近では丁寧にだしを  
とりながら作っています。ベンシヨン扇浦のこと、違うじつに近づいてきたと  
言われながら頑張りしています。

